

# 困窮者支援へ無償配布

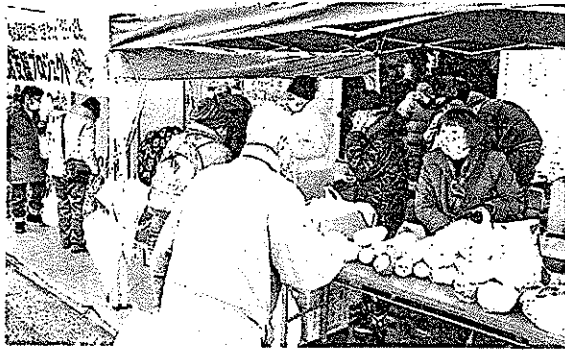
県医療生活協同組合

福井 あす食料品や日用品

新型コロナウイルスの影響で困窮している人を支援しようと、福井市の県医療生活協同組合は二十七日、同市光陽二の県社会福祉センターで食料品や日用品を無償で配る。担当者らは「感染拡大から一年。困っている方は福井でも増えている。お互いさまの気持ちで」と、配布する品物の提供を県民に広く呼び掛けている。

イベントは「食糧支援プロジェクト」と題して昨年十月から行っている。同組合が行ってきた健康教室などの活動がコロナ禍で制約を受けたため「助け合いの活動ができた」と食料品の無償配布を思い立った。

第一弾は同市の県民医連ビルで行い、失業した人など三十人が訪れた。第二弾は十二月末に同ビルで行い、六十人が足を運んだ。



食料品を無償で配った過去のイベントの様子。福井市の県民医連ビル前で

コメや餅、大根、白菜などのほか、缶詰やレトルト食品、カップラーメンなどを配った。

県医療生協理事の西村高治たかしさんは「コロナが長期化し、食事を切り詰めている方には大変喜ばれた。仕事がなくなった方や収入が減った方、中には若い方もいた」と振り返る。第二弾となる今回は、食料品と共にタオルや洗剤などの日用品も配り、相談コーナーも設ける予定だ。「困っている方は遠慮せずに来て。協力しても良いという方はぜひ提供して」と呼び掛けている。

イベントは二十七日午後二時から四時まで、同センター一階大会議室で。提供してもらえる品物については、相談の上、車で取りに行くことも可能。前日まで募集し、当日持ち込みも歓迎という。◎県医療生協本部 090(9760)3900 (藤共生)